

# 事業概要シート

施策 2101 効率的な行政運営の推進

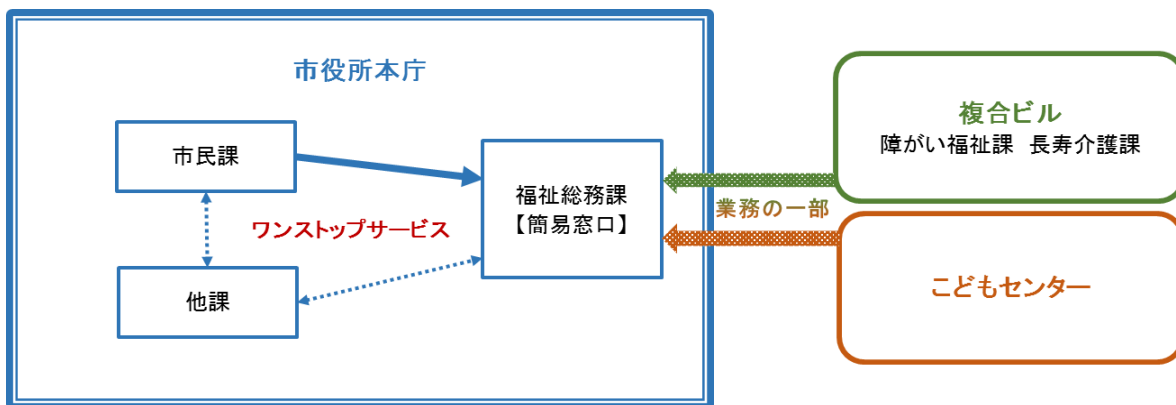
《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計  
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。  
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	福祉簡易窓口事業	現状維持	予算額	2,435 千円
			《 2,379 》千円	
事業期間	平成19年度 ~	財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等			県支出金	217 千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	2,218 千円

## 【事業の目的・概要・対象】

児童福祉、障害福祉、高齢者福祉（介護保険含む）に関する受付窓口を設置し、スムーズに簡易窓口業務を行う。

主に転入・転出のため来庁する一般市民について、こどもセンターや障がい福祉課、長寿介護課の所管業務の一部を行うことで、部分的にワンストップサービスを行い、横断的で質の高い住民サービスの提供を実現することを目的とする。



## 【背景】

平成19年度の機構改革（こどもセンター、生きがいサポートセンターの開設）に伴って開始。当初は、各センターが十分に認知されるまでの期間として、3年間で終了することとなっていたが、むしろ利便性の面で当窓口の認知が広まったことから、そのまま継続することとなった。開始当初、職員1、嘱託員2、手話通訳（社協派遣）1の体制でスタート。平成22年に嘱託員1をパート化、平成23年に残りの嘱託員1（障害者枠）をパート化し、現在は職員1、パート2、手話通訳1の体制で実施している。今後は制度改革等に伴い、業務を担う他課との連携を密に行っていく必要がある。

担当課	福祉保健部福祉総務課	課長	山口 理行
担当者	矢野 健一郎	問合せ先	0957-53-4111（内線406）

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①		計画値					
②		計画値					

### 【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	手話通訳相談員設置数	人	1	1	1	1	1
②	窓口専属パート数	人	2	2	2	2	2

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	2,249	2,045	2,379	2,435	2,435	2,435	13,978
国庫支出金							0
県支出金	253	253	238	217	217	217	1,395
地方債							0
その他							0
一般財源	1,996	1,792	2,141	2,218	2,218	2,218	12,583
人件費	5,982	6,107	7,197	7,197	7,197	7,197	40,878
職員(人)	0.82人	0.71人	0.86人	0.86人	0.86人	0.86人	4.97人
時間外勤務(h)							0h
嘱託員(人)	0.01人	0.51人	0.51人	0.51人	0.51人	0.51人	2.56人
フルコスト	8,231	8,152	9,576	9,632	9,632	9,632	54,856

妥当性 (市の関与)	<p>転入・転出や他の所用で来庁される市民が、こどもセンターや障がい福祉課、長寿介護課の所管業務に関する申請等が必要な場合があり、ワンストップサービスの提供のため本庁舎内に受付可能な窓口を常設しておく必要がある。これらの内容は市の業務であり、当然市が関与すべきである。</p>
有効性 (施策貢献度)	<p>本庁来庁者にとって利用しやすく、同じ窓口で多くの申請受付ができること、また、さまざまな内容の支援相談にも対応しており、施策への貢献度は高い。</p>
効率性 (コスト)	<p>業務体制の見直しはすでに実施してきており、これ以上の削減は不可能である。</p>

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり